

経済日誌2007年3月

1. モロッコ国内経済

(1)財政

①スタンダード・アンド・プアーズによるモロッコ政府長期債の格付け¹

- ・格付けを BB プラス・安定的からBBプラス・ポジティブに引き上げ
(長期債の格付けは 2005 年にBBからBBプラスに引き上げられた)

②海運(乗客、貨物)・港湾サービス会社(COMNAV社)の民営化²

- ・仏系 CMA-CGM グループが買収(買収価格は約 320 億円)
- ・2005 年における COMNAV 社の売上は約 210 億円、従業員は 1075 人
- ・CMA-CGM グループは世界第3位の海運グループ(売上げは 7500 億円超)

(2)公共事業等

①ラバト近郊(Sidi Yahya Zaër)新都市建設プロジェクト³

- ・新都市の名称は「Tamesna」。
- ・事業規模約 3100 億円。25 万人の人口を見込む。
- ・第1次として、約 460 億円を投入。9つの教育施設、3つのモスク、2つの保健センター、2つの工業ゾーンの設置を予定。
- ・同種のプロジェクトとしては、マラケシュ近郊の新都市「Tamansourt」建設プロジェクトに次ぐ2番目のプロジェクト。その他4つのプロジェクト(カサブランカ近郊の「Zenata」、タンジェ近郊の「Melloussa」、Had Soualem 近郊の「Lakhyayta」、アガディール近郊の「Tagadirte」)について現在調査中の段階。

②ラバト・ウダイヤトンネルの建設⁴

- ・イタリア系 Pizzarotti ALPI DE CO 社が受注
- ・トンネルの長さは 1022m、総工費は約 70 億円。
- ・36 ヶ月の工期を経て、2010 年第1四半期に完成予定

③地中海道路の一部開通⁵

- ・アルホセイマ地方～シャウエン地方を結ぶ区間102kmの開通
- ・事業費約 190 億円(EUからの借款)
- ・地中海道路はモロッコ北部のタンジェ～サイディアを結ぶ 507Km の沿岸道路

¹ エコノマップ(3 月 29 日)

² エコノマップ(3 月 30 日)

³ エコノマップ(3 月 14 日)

⁴ エコノマップ(3 月 23 日)

⁵ エコノマップ(3 月 29 日)

(3)産業

①運輸部門(長距離バス、トラック等)のストライキ⁶

(ア)経緯

- ・11日、長距離バス運転手の労働組合(COM)とトラック運転手の労働組合(SUFP)(以下「両組合」)が以下2.の要求事項を掲げてストライキを実行。
- ・14日までに、両組合に所属しない運転手や、カサブランカの長距離タクシー運転手、タンジェの市内及び長距離タクシー運転手等もストライキに加わり、規模が拡大。
- ・14日夜から15日未明まで、両組合と設備・運輸省との間で話し合いが行われ、以下4.の合意事項への署名(両組合はストライキ終結を宣言)により、ストライキは沈静化。
- ・両組合以外の運輸セクター関連労働組合と設備・運輸省との間の話し合いも別途実施される予定(既に実施されたものもあり)。

(イ)両組合の要求事項

- ・新規道路交通法案を廃案とすること(右法案はヨーロッパで有効な道路交通法類似の法案であるが、モロッコとヨーロッパの異なる労働環境が考慮されていない)
- ・免停対象の減縮
- ・罰金の低減
- ・運転手の労働環境を考えること
- ・政府と組合間で対話を行うこと

(ウ)経済的影響

- ・約千台の長距離バスの運行停止、タクシーの一部停止により、通勤等に支障。
- ・約2万5千台のトラックが運行停止したため、ガソリン・農産物を始めとする商品の流通に障害。また、港における荷役業務も大幅に停滞。

(エ)政府と両組合との合意事項

- ・政府は、2005末以前に決定された免停に関し、免停を解除すること(訴訟が提起されている重大なものを除く)
- ・組合側は、組合員に対し道路交通法を遵守するよう指導すること
- ・政府は、道路交通法規に規定された免停対象のみを、実際の免停対象とすること
- ・免停期間を「1～6か月」から「15日～3か月」に減じること

②セメント産業動向⁷

- ・2010年のセメント需要見通しは1550万トン(2006年のセメント消費量は1130万トン)
- ・セメント産業における投資額(2006-2010年)は、約1400億円の見込み

③AI Atlas社がカサブランカに飼料工場を開設⁸

⁶ Journal L'Opinion(3月13日～16日)等

⁷ エコノマップ(3月2日)

⁸ エコノマップ(3月19日)

- ・カサブランカの Mediouna 地区に開設
- ・投資総額約 18 億円
- ・月産 4 万トン

④モロッコ貿易銀行(BMCE)がアフリカ銀行(Bank of Africa)の株式 35%を取得⁹

- ・アフリカ銀行は、西アフリカ経済通貨同盟において規模第3位の銀行

⑤モロッコ貿易銀行(BMCE)の 2006 年業績¹⁰

- ・利益:約 130 億円(前年比 23.2%増)
- ・貸付残高:約 6400 億円(前年比 23.5%増)
- ・預金残高:約 9500 億円(前年比 17%増)
- ・自己資本:約 1000 億円(前年比 8.2%増)

⑥Addohaグループによる不動産観光投資¹¹

- ・ラバト〜サレ地区における不動産・観光複合施設に係る投資

⑦GILMAROC社による不動産観光投資¹²

- ・タンジェ・テトゥアン(Sidi Boukhalef 地区)における不動産・観光複合施設に係る投資

⑧Maghreb Steel社による工場建設¹³

- ・モハメディアに熱圧延工場を建設

⑨モロッコ炭化水素鉱山公社の 2006 年活動状況¹⁴

- ・石油探査投資:約 70 億円(内 91%はパートナー企業による投資)(前年比 54%増)
- ・天然ガスの産出量は 4480 万m³(前年比 70%増)、生産額は 15 億円(前年比 130%増)

⑩天然ガスターミナル建設に係るフィージビリティ調査¹⁵

- ・2005 年に、天然ガスの有効利用について、Akwa グループ、電力公社、SAMIR 社、エネルギー鉱山省間で協力協定に署名
- ・第1弾として、天然ガスに関する市場(ポテンシャル)、供給手法の最適化、価格分析について調査を実施(2007 年 5 月に完了予定)
- ・第2弾として、技術及び環境調査を実施

⁹ エコノマップ(3 月 19 日)

¹⁰ エコノマップ(3 月 26 日)

¹¹ エコノマップ (3 月 21 日)

¹² エコノマップ (3 月 21 日)

¹³ エコノマップ (3 月 21 日)

¹⁴ エコノマップ (3 月 29 日)

¹⁵ エコノマップ (3 月 30 日)

(4)その他

①モハメッド6世国王第2子の誕生¹⁶

- ・2月28日に誕生:プリンセス・Lalla Khadija(ララ ハディジャ)
- ・第1子はプリンス・Moulay El Hassan(2003年5月8日生)

②モロッコスペイン間連絡送電線¹⁷

- ・2番目の連絡送電線の設置を完了

③2030年モロッコ人口見通し¹⁸

- ・総人口は3800万人(現在の人口は3070万人)。
- ・15才以下人口、人口比率は800万人、21%の見込み(2004年時点:927万人、31%)
- ・15-59才人口、人口比率は2260万人、59.4%の見込み(2004年時点:1821万人、61%)
- ・60才以上人口、人口比率590万人、15.4%の見込み(2004年時点:238万人、8%)

④ラバトーホノルル間姉妹都市協定の締結¹⁹

⑤カサブランカでテロ犯所持の爆弾が爆発²⁰

- ・11日夜、カサブランカのシーディームーメン地区のネットカフェにて爆弾が爆発
- ・負傷者4名。テロ犯については1名が死亡、1名が逃走後に逮捕。

⑥セタットーマラケシュ間高速道路の開通²¹

- ・2007年3月末に工事完了、4月の初めに開通予定(設備・運輸大臣の発言)

⑦CDG(モロッコ預託管理庫)の2006年業績²²

- ・利益は約350億円(前年比49.7%増)

¹⁶ Journal le Matin du Sahara et du Maghreb(3月1日)

¹⁷ エコノマップ(3月5日)

¹⁸ エコノマップ(3月7日)

¹⁹ エコノマップ(3月12日)

²⁰ Maghreb Arabe Presse(3月12日)

²¹ エコノマップ(3月13日)

²² エコノマップ(3月28日)

2. 諸外国等の動向

(1) 外国政府の動向

① モロッコ・EU間漁業協定の発効²³

- ・協定署名日は 2006 年 7 月 26 日
- ・協定内容:
 - 有効期間は4年間
 - モロッコ領海内での 119 のEU船の操業許可
 - 年間 6 万トンの漁獲高を割り当て
 - モロッコ(漁業関連)に 1 億 6100 万ユーロの財政支援

② 第 8 回モロッコ・スペインハイレベル会合の開催²⁴

- ・複数の協定に署名
 - タンジェ風力発電事業への融資に関する覚書き
(スペイン GAMESA EOLICA 社が受注)
 - Aïn Beni Mathar 熱太陽光発電事業への融資に関する覚書き
(スペイン ABENGOA 社を含む企業連合が受注)
 - モロッコ雇用・職業訓練省とスペイン労働・社会事業省との間の協力に関する覚書き
 - モロッコ司法高等研究所とスペイン司法研究所との間の協力
 - ラバトにおけるスペイン学校設置(土地取得)に係る協定
 - 不法移民防止分野での協力協定
- ・2012 年の国際博覧会について
 - 候補地タンジェ市を支持する旨表明(スペイン Zapatero 首相の発言)
- ・ジブラルタル海峡トンネル計画(鉄道用)について
 - 同計画の実現は両国経済の発展にとって有益であることを確認(両首相)

(参考) 対スペイン経済関係(2006 年)

- ・対スペイン輸出: 3200 億円(前年比 16.8%増、輸出全体に占める割合は 20.7%)
- ・対スペイン輸入: 3300 億円(前年比 10.2%増、輸入全体に占める割合は 11.5%)
- ・外国からの直接投資(約 4000 億円)に占めるスペインの割合: 26.4%
- ・モロッコ進出スペイン企業: 1000 社超
- ・スペイン人観光客数: 約 47 万人(2003 年から倍増)

③ ドイツ・モロッコ間、労働分野での協力²⁵

- ・ドイツ労働省とモロッコ雇用職業訓練省が協力強化に係る宣言文に署名

²³ エコノマップ (3 月 1 日)

²⁴ エコノマップ (3 月 7, 8 日)

²⁵ エコノマップ (3 月 19 日)

④第 8 回モロッコ・ベルギー・ハイレベル会合の開催²⁶

- ・複数の協定に署名
 - ・三角協力促進支援基金の設立
- ・モロッコ内務省とベルギー内務局との協力に係る宣言書
(市民保護、危機管理・緊急対応、移民管理、犯罪防止、警察等の分野)
- ・犯罪者引き渡し協定(1997 年署名)に関し、追加条項の挿入

⑤モロッコ・ギリシア間での協定締結²⁷

- ・2重課税防止協定
- ・再生可能エネルギー分野での協力協定
- ・輸出保険に関する協定(モロッコ輸出協会とギリシア輸出保険との間で署名)

(2)外国企業の動向

①フランス系セメント会社(Lafarge)の売上、利益(2006 年)²⁸

- ・売上は約 520 億円(前年比 18.6%増)、利益は約 130 億円(前年比 11.6%増)

②イタリア系セメント会社(Ciments du Maroc)の売上、利益(2006 年)²⁹

- ・売上は約 290 億円(前年比 8.5%増)、利益は約 70 億円(前年と同じ)

③フランス系情報サービス・管理会社(Capgeminiグループ)のモロッコ進出³⁰

- ・モロッコにサービスセンター(オフショア)を設立。500 人を雇用
- ・Capgemini グループは、売上高約 1 兆円、7 万 5 千人の従業員を有する。

④フランス系GEFCOグループのカサブランカに新車自動車保管センターを開設³¹

- ・カサブランカの Mediouna 地区に開設
- ・4500 台の保管、年間 3 万台(全車種)の取り扱いが可能
- ・投資総額は約 8 億円
- ・GEFCO グループはプジョー・シトロエン社の子会社

⑤スペイン系IBEROSTAR Hotels and Resortsによる観光不動産投資³²

- ・マラケシュにおける観光複合施設及び住居(3000 戸)に係る投資

²⁶ エコノマップ (3 月 19 日)

²⁷ エコノマップ (3 月 21 日)

²⁸ エコノマップ(3 月 8 日)

²⁹ エコノマップ (3 月 30 日)

³⁰ エコノマップ (3 月 14 日)

³¹ エコノマップ (3 月 19 日)

³² エコノマップ (3 月 21 日)

⑥ア首連系EMAARによる観光不動産投資³³

- ・タンジェ・テトゥアン(Sidi Boukhalef 地区)における不動産観光複合施設(娯楽施設、商業施設、ビジネスセンター等)に係る投資

⑦ルクセンブルク系Leonard De Vinci Internationalによる観光投資³⁴

- ・マラケシュにおける観光複合施設(ベッド数 585)に係る投資

⑧仏系LOGICA CMG社による投資³⁵

- ・ラバトショア、カサショアにおける情報システム開発・維持・サポートに関する投資(2009 年までに 500 人を新規雇用)
- ・投資額約 7 億円

⑨スペイン、ポルトガル系テレコム会社Méditelの業績(2006 年)³⁶

- ・2006 年売上は約 660 億円(前年比 9%増)
- ・2006 年利益は約 60 億円(前年比 266%増)
- ・2006 年設備投資は約 210 億円(前年比 46%増)

⑩米系Fruit of The Loom社による投資³⁷

- ・テマラ・スキラット地区に繊維工場を建設(投資総額約 200 億円)
- ・既存のサレ工場に加え、従業員は 5000 人程度に達する見込み(現在 2500 人)
- ・なお、モロッコに進出している米系企業は 120 社以上

⑪スペイン系Fadesaグループによる観光不動産投資³⁸

- ・アガディールの南方「Plage Blanche」における観光リゾート建設に約 700 億円を投資
- ・5000 床のホテル・住居、ゴルフ場、商業施設の建設等

⑫ア首連系企業「Al Hal Al Kabida」社が、ベンスリーマン商業空港建設のフィージビリティ調査を受注³⁹

- ・調査期間は 6 ヶ月

(3)経済協力

①スペインによる漁業分野協力⁴⁰

³³ エコノマップ (3 月 21 日)

³⁴ エコノマップ (3 月 21 日)

³⁵ エコノマップ (3 月 21 日)

³⁶ エコノマップ (3 月 22 日)

³⁷ エコノマップ (3 月 22,30 日)

³⁸ エコノマップ (3 月 27 日)

³⁹ エコノマップ (3 月 30 日)

⁴⁰ エコノマップ (3 月 5 日)

- ・スペイン開発援助基金(FAD)を通じての約 24 億円の融資協力
- ・モロッコ漁業分野に対する協力:4100 隻の漁船の切り換えに対応

②スペイン・アンダルシア州による協力⁴¹

- ・モロッコ北部地方の保健分野に係る協力につき覚書に署名(総額約 7 億円)

③EUによる協力⁴²

- ・モロッコの改革支援のために、四年間で約 1000 億円の援助をする提案を発表

④日本による草の根無償資金協力⁴³

- ・4件(総額約 3 千万円)の無償資金協力で署名。伝統的灌漑設備(ハッターラ)整備関連。
- ・受益団体は、エルラシディア(2件)、エルフード、タルーダントの NGO
- ・日本大使館にて実施された署名式典には、モハッタン農村開発担当国務長官、Dades・I NDH担当知事が列席

⑤ドイツKfWによる協力⁴⁴

- ・エッサウイラの風力発電所が 2007 年 6 月に稼働予定(60MW)
- ・事業規模約 100 億円(うち約 75 億円が KfW からの借款)。CDM登録案件。

⑥アラブ経済社会開発基金(FADES)による協力⁴⁵

- ・フェズ〜ウジダ間高速道路建設計画に対する約 120 億円の借款に署名
- ・FADES によるモロッコへの協力は 1974 年以来約 3100 億円に達する(最近 4 年間の平均援助額は約 200 億円)。

⑦石油輸出国機構基金による協力⁴⁶

- ・第2次地方道路計画に対する約 30 億円の借款に署名

⑧ア首連による協力⁴⁷

- ・カサブランカに医療施設を建設(事業費約 120 億円、敷地面積6ha)
- ・同医療施設は、UAE大統領の名を冠して「シェイフ・ハリーファ・ベン・ザイド・アル・ナヒヤーン」医療センターと命名される。

⁴¹ エコノマップ (3 月 13 日)

⁴² エコノマップ (3 月 5 日)

⁴³ エコノマップ (3 月 7 日)

⁴⁴ エコノマップ (3 月 13 日)

⁴⁵ エコノマップ (3 月 19 日)

⁴⁶ エコノマップ (3 月 22 日)

⁴⁷ エコノマップ (3 月 29 日)

⑨フランスによる協力⁴⁸

- Taourirt-Nador 間鉄道の信号システム設置について約 20 億円の借款

⁴⁸ エコノマップ (3 月 29 日)